

[成果情報名] 県内で1月収穫が可能な有望カンキツ「麗紅」、「たまみ」

[要約] (独) 果樹研究所カンキツ研究部で育成された「麗紅」、「たまみ」は、県内においても1月下旬までに収穫可能であり、剥皮性や食味が良くオレンジの香りのするカンキツとして有望である。

[キーワード] 「麗紅」、「たまみ」、1月収穫、果実品質

[担当機関名] 果樹試験場・栽培部

[連絡先] 0737-52-4320

[部 会 名] 果樹

[分 類] 指導

[背景・ねらい]

中晩生カンキツは、「清見」、「不知火」、「はるみ」といった糖度が高く剥皮性が良く、じょうのうごと食べられる品種が主流となりつつあるが、これらの品種は2月中旬以降が成熟期であり、1月収穫品種を検討する必要がある。

そこで、(独) 果樹研究所カンキツ研究部が育成した「麗紅」((清見×アンコール) × マーコット)、「たまみ」(清見×ウイルキングマンダリン) について本県での1月収穫の可能性を検討する。

[成果の内容・特徴]

1. 「麗紅」の果実は扁平、果皮は滑らか、剥皮性は中～やや易、種子は入りやすい。じょうのう膜はやや厚いが、果汁が多く食味が良い(表1)。果実色は鮮橙色で12月中下旬に完全着色、剥皮時にアンコール臭がある。浮き皮は、1月下旬までの収穫ならほとんど発生が見られず、2006年の調査では2月上旬でも無かった(図5)。
2. 「たまみ」の果実は扁球、果皮の滑らかさは中、剥皮性は易、種子は入りやすい。じょうのう膜は薄く、食味が良い(表2)。果実色は明橙色で12月中下旬に完全着色、剥皮時にオレンジ香がある。浮き皮は、1月20日前後まで着果させると軽度の発生が見られ(表2)、2006年の調査でも1月下旬から見られはじめた(図5)。
3. 「麗紅」、「たまみ」の果実品質は、2005年・2006年産とも1月下旬の果汁中糖度が12度以上(図1, 2)、クエン酸含量が1.0%近くになり、食味が良く可食期となる(図3, 4)。

[成果の活用面・留意点]

1. 「麗紅」、「たまみ」とも、2月になると浮き皮の発生が見られる場合があるので、その前に収穫を終えることが望ましい。
2. 「麗紅」、「たまみ」は農林登録後間もないため、果実調査結果は系統適応性検定試験を行った当场のみである。今後適地条件や栽培方法の検討が必要である。

[具体的データ]

表1 「麗紅」の系統適応性検定試験結果

調査日	果形	果形 指数	果実重 g	果肉 歩合 %	果皮 粗滑 1)	剥皮性 2)	種子		じょう のう	嗜好性	す上がり 程度 3)	浮皮 程度 4)	糖度 %	酸度 %	糖酸比
							完全	不完全							
2001.1.19	扁平	136	179	78.4	やや滑	やや易	18.4	0.2	0.46	中	0.0	0.0	11.3	0.94	12.0
2002.1.21	扁平	136	186	76.3	滑	中	7.6	0.0	0.27	中	0.0	0.0	11.7	1.16	10.1

表2 「たまみ」の系統適応性検定試験結果

調査日	果形	果形 指数	果実重 g	果肉 歩合 %	果皮 粗滑 1)	剥皮性 2)	種子		じょう のう	嗜好性	す上がり 程度 3)	浮皮 程度 4)	糖度 %	酸度 %	糖酸比
							完全	不完全							
2002.1.21	扁球	140	269.3	79.9	中	易	2.2	3.4	0.30	中～良	0	0.7	12.8	1.16	11.0
2003.1.27	扁球	139	190.5	81.8	中	易	11.2	5.2	0.16	良	0.0	0.2	12.0	1.11	10.8

※調査は、カンキツの調査方法(1987)による

- 1)観察による、粗:果面の凹凸が甚だしい、中:果面に凹凸がある、滑:果面の凹凸がほとんどない。
- 2)易:手で容易に剥ける、中:中間、難:手で剥くのは困難。
- 3)無(0):す上がりが無い、軽(1):わずかにす上がりが認められる、中(2):す上がりが果肉の1/4以下、甚(3):果肉の1/4以上す上がり。
- 4)無(0):浮皮がない、軽(1):わずかに浮皮が認められる、中(2):浮皮が果皮の1/4以下、甚(3):浮皮が果皮の1/4以上発生している。

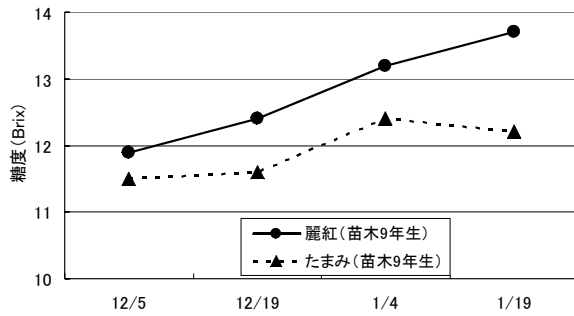


図1 「麗紅」、「たまみ」果汁中糖度の推移(2005)

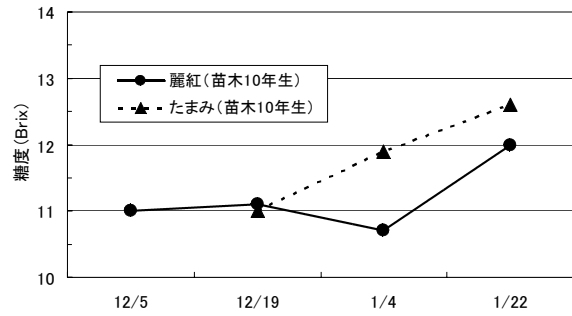


図2 「麗紅」、「たまみ」果汁中糖度の推移(2006)

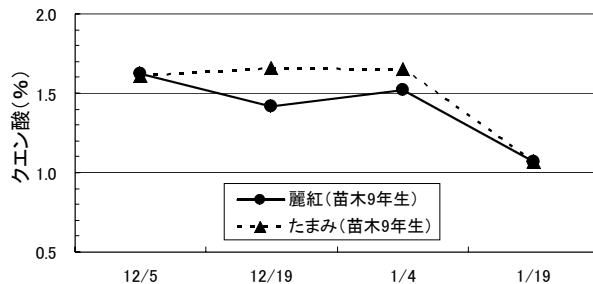


図3 「麗紅」、「たまみ」果汁中クエン酸含量の推移(2005)

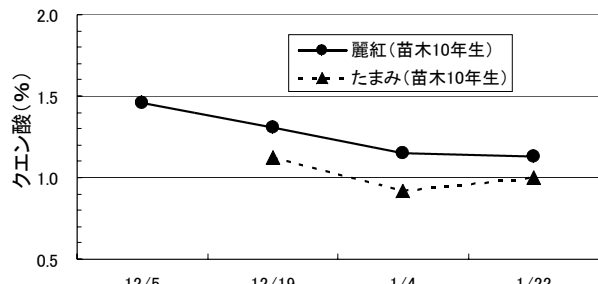


図4 「麗紅」、「たまみ」果汁中クエン酸含量の推移(2006)

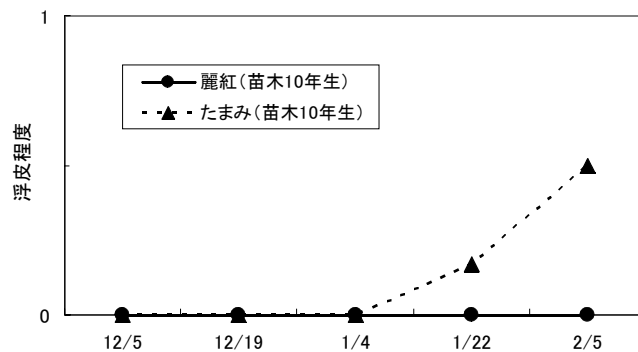


図5 「麗紅」、「たまみ」浮皮程度(0~3)の推移(2006)

[その他]

研究課題名：カンキツ及びビワの系統適応性検定試験

予算区分：国庫、県単

研究期間：2001年～2010年

研究担当者：中地克之、森口幸宣、細平正人

発表論文等：なし